



「卒業式は、みんなで」



- ・3月8日（火）、かづの校の卒業式を行いました。2年前は卒業生のみ、1年前は卒業生とその保護者、そして、今年度はコロナ対策を万全に講じて在校生も参加しました。事前に気を付けるポイントを伝えておき、全体練習は予行も含めて3回でした。練習を重ねるたびに、座っているときの姿勢（ピン・トン・ポン）、卒業証書の受け取り方、呼び掛けで話すタイミングなど、子どもたちは過去の記憶を呼び覚ましなが、やり方を頭と体で覚えていきます。予行が終わった後、卒業生と在校生の代表の子どもに自己採点と感想を発表してもらった後、「みなさんはすでにやり方を覚えています。あと必要なものは卒業式に臨む気持ち＝心構えです。在校生の祝福の気持ちと、卒業生の感謝の気持ちが重なったとき、思い出に残る卒業式になります」と語り掛けました。

- ・そして、本番。少しぶかぶかの真新しい制服に身を包んだ小学部のSさんと、欠席が続き式への参加が難しいと思われた高等部のKさんが登校した姿に目がうるうるしました。式の中では、輝く未来を見つめるかのように証書を受け取る子どもの凜々しい姿や呼びかけで思わず涙する卒業生の姿にうるっときました。また、長期入院のため式に参加できなかったOさんと、学級の子どもたちが約4か月ぶりにオンラインでつながり笑顔の花が咲いたとき、もう涙で前が見えなくなりました。
- ・卒業式は、卒業生と在校生が互いの気持ちを重ね合わせる深い学びの場であり、先輩から後輩へ「伝統という見えないバトン」が引き継がれる場にもなります。卒業式を次に進むステップにするために、一日も早くコロナ感染拡大が収束し、みんなで祝福できる日が訪れることを祈るばかりです。



うれしいときは うれしい顔を
 悲しいときは 悲しい顔を
 これって とっても大事なこと
 素直に ありのままに 生き生きと
 卒業生に たくさんの幸せが 訪れますように



かづの校副校長 加賀谷 勝

